

【特別支援学校用】

令和2年度学校評価 結果・学校関係者評価

Table with 2 columns: 学校名 (佐賀県立伊万里特別支援学校) and 1 前年度評価結果の概要 (Summary of previous year's evaluation results).

2 学校教育目標 将来の社会生活を見据え、自立を目指して児童生徒個々の特性に応じた教育を行う。

3 本年度の重点目標 ① 児童生徒の特性と教育的ニーズの把握に努め、個に応じた教育計画・実践の充実を図る。 ② 健康・安全教育の充実を図り、安心・安全な教育環境を整備する。 ③ 進路指導の充実に向け、キャリア教育の実践を積み重ねて卒業後の自立した社会生活をサポートする。 ④ 児童生徒の主体性を尊重し、「明るく」「素直に」「元氣よく」「たくましく」生きる力を育む。

4 重点取組内容・成果指標 (1) 共通評価項目

Main evaluation table with columns: 評価項目, 重点取組, 成果指標(達成状況), 具体的取組, 中間評価, 最終評価, 学校関係者評価, 主な担当者. Rows include: ① 学力の向上, ② 心の教育, ③ 健康・体づくり, ④ 地域支援, ⑤ 業務改善・教職員の働き方改革の推進.

(2) 本年度重点的に取り組む独自の評価項目

Table with 7 columns: 評価項目, 重点取組, 成果指標(達成状況), 具体的取組, 中間評価, 最終評価, 学校関係者評価, 主な担当者. Rows include: ① 感染症の予防対策の徹底, ② 連絡情報の提供と活用及び施設・施設体験, ③ 連絡指導とキャリア教育の推進.

5 総合評価・次年度への展望 取組内容の13項目のうち、中間の評価がとられている内容は10項目であったが、期末には5項目と減少した。次年度は、B評価された実施結果を精査し見直しを図る。心の教育については、「いじめを見逃さない体づくり」が推進できていないと感じている職員がおり、体制づくりに関しては改善が必要と思われる。業務改善・教職員の働き方改革の推進については、学部や科毎に時間外勤務が削減しているが、大きな行事の準備期間が多く、行事の見直し検討課題である。また、会議時間の短縮は、職員に定着しつつあり、次年度に継続して取り組むたい。感染症の予防対策の徹底は、職員の協力や保護者、関係機関の方の理解を受け、おこなわれ実施できている。教室・ホール・アトリウムの設置を要望する声もあり、対策の強化を図りたい。

達成度(評価) A: 十分達成できている B: おおむね達成できている C: やや不十分である D: 不十分である